

講義名	日本語資格試験講座 【留学生科目】			授業形態	
担当教員	山崎 誠	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生
				ナンバリング・コード	

主題と概要

日本語能力試験に合格できるレベルの実力を養成する。
多くの問題を解くことで、どのような設問が出るか、出題ポイントや自分の苦手な部分を認識し、実力を伸ばす。
日本語能力試験合格を目指し、モチベーションを高め、さらにその後の学習、就職につなげる。

到達目標

日本語能力試験合格を第一の目標とする。
幅広い場面で使われる日本語を理解する。
試験の勉強を通じた知識を新聞や評論を読んだり、講義、スピーチに応用する。

提出課題

授業で学んだことを定着させるため、毎回、小テストを行う。
語彙、文法などの問題を課題として扱う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回行う小テストに関して、授業内、または個人的にフィードバックする。

評価の基準

授業の参加度、がんばり度（30%）
毎回テスト（30%）
中間テスト（30%）
期末テスト（30%）

履修にあたっての注意・助言他

毎回出欠をとり、かつてテストを受ける。
15分以上の遅刻は欠席とし、遅刻3回で、1回欠席にします。

教科書

・使用しない。

参考図書

・スピードマスターN1文法。 渡辺 垂子 Jリサーチ出版 1320 978-486392072

その他

受業計画

- オリエンテーション、授業内容説明、文字語彙：漢字（表記）
- 文字語彙：漢字（読み）
- 文字語彙：漢字（特殊、例外のもの）
- 文字語彙：カタカナ語、外来語
- 聽解：短い・中程度の聽解問題
- 文法：機能語（実態の音倣と違うもの）
- 文法：機能語（定型のもの）
- 中間テスト
- 長い文章の聽解問題
- 詮解：短文
- 詮解：中長文
- 実践テスト（過去問題）
- 実践テスト（過去問題）
- 学期末テスト

授業形態（アクティブラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：文法項目等の一覧を確認し、各自で日本語能力試験の問題に関して事前に調べる（約2時間）
復習：授業内で扱った問題について確認し、覚える。また試験の時期に合わせて苦手分野を中心に復習を続ける（約2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

幅広い場面で使われる日本語を理解する実力を養成し、日本語の資格の取得を活かして自主・自立の精神を持った人材を育てる

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考